Creative Enzymes®

ネイティブ環境DNAプスチラナーゼ（β-グルカナーゼ）

Cat. No. NATE-0645

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	熱安定性のβ-1,6-エンドグルカナーゼまたはプスチュラナーゼ（E.C. 3.2.1.75）は、プスチュランおよび1,6結合のグルコースユニットを含む他のベータグルカンにおけるβ-1,6結合の切断を触媒します。この酵素は、米国□局方食品および化学物質インデックスに記載されているように、ベータグルカンの標準アッセイの成分となっています。
別名	EC 3.2.1.75; グリコシダーゼ; プスチュラナーゼ; グルカンエンド-1,6-β-グルコシダーゼ; 6-β-D-グルカングルカノヒドロラーゼ; エンド-1,6-β-グルカナーゼ; β-1→6)-β-D-グルカナーゼ; β-1,6-グルカナーゼ-プスチュラナーゼ; β-1,6-グルカンヒドロラーゼ; β-1,6-グルカン 6-グルカノヒドロラーゼ; 1,6-β-D-グルカングルカノヒドロラーゼ

製品情報

種	環境DNA
由来	独自のメタゲノム環境DNA
EC番号	EC 3.2.1.75
CAS登□番号	37278-39-0
最適pH	適切なpH範□は約5-8で、最適は約5.5です。
最適温度	酵素は比較的広い温度範□（65-90°C）で活性があり、最適温度は約80°Cです。
特異性	Cel136 ベータグルカナーゼ (プスチラナーゼ) Cel136 は、プスチラン (β-(1,6)-D-グルカン) やゲンティオビオース (β-(1,6)-結合二糖) のような β-(1,6) 結合を持つ β-グルカン多糖類や、ラミナリン (β-(1,3/1,6)-D-グルカン) や酵母 β-グルカン (β-(1,3/1,6)-D-グルカン) のように混合結合を含む β-グルカンを加水分解します。基質特異性分析 (以下) によると、この酵素は β-(1,3) または β-(1,4) 結合を切断せず、リケナン (β-(1,3/1,4)-D-グルカン) や CM-セルロース (β-(1,4)-D-グルカン) の β-グルカンに□して活性を示しません。
単位定義	酵素活性の1単位（U）は、1分あたり1μmolの還元糖の放出を引き起こす量です。